



MMC 卒後臨床研修センター
MMC通信

発行日 平成20年11月15日(第40号)

トピックス

平成20年度マッチング結果発表
～三重県内は90名と過去最高～

私のワーク・ライフバランスのを見つけ方
～臨床医として自分らしく働くために～

情報コーナー

☆平成21年度マッチング
MMC臨床研修病院説明会

☆平成21年度
新採用研修医オリエンテーション

ちょっと太り気味ドクターの
～スタンフォード旅行記～“番外編”

その1 カリフォルニアからのメール

私のワーク・ライフバランスのを見つけ方
～臨床医として自分らしく働くために～
10月25日(土)アストホール(津市)にて開催

三重県医師会・日本医師会が主催、三重大学地域医療学講座・NPO法人MMC卒後臨床研修センターが共催し、70名が参加した。シンポジウム名を“みんなちがって、みんないい”と銘打ったとおり、4名の医師達はそれぞれの働き方の違いややりがい等をユーモアを交えて熱演した。三重大乳腺センターの小川朋子教授は、「自分の前に道がなくても、時々自分の道を振り返って考える。女の道は一本道、自分で切り開いていくもの」、宮崎大産婦人科の秦博子先生は、「7年振りの再就職、ロールモデルは身近な人達からいろんな面を吸収」、四日市社会保険病院内科の佐藤良子先生は、「子どもが幼少期は勤務時間の配慮、主人と二人で育児も家事も」、亀谷内科胃腸科の亀谷章院長は、「育児も家事も外部に委託、仕事はパート勤務でも継続することが大事」とお話があった。

パネルディスカッションでは参加者であった東海北陸厚生局の安田あゆみ先生も議論に参加し、活発な討論が行われた。実際に育児と臨床の間で悩む女性参加者に対しても、パネリストより具体的なアドバイスが述べられていた。



平成20年度マッチング結果発表
～三重県内は90名と過去最高～

去る10月16日に、平成20年度研修医マッチングの結果が公表された。研修医マッチングは今年で6回目で、臨床研修制度についての混乱が伝えられる中、研修先を決める制度としてはすっかり定着の感を認める。マッチング結果については、全国的に参加者が300名弱減少した影響もあり、マッチング成立者も172名の減少(前年比、以下同様)を認めた。そのような中で、三重県全体では90名がマッチング成立、前年比8名の増加を認めた。NPO法人MMC卒後臨床研修センター設立当初の目標である研修医を80名受け入れるという目標を昨年達成し今年の結果が注目されていたが、さらにそれを上回る健闘となった。病院個別で見ると、研修定員一杯にマッチ者がでるフルマッチが、鈴鹿中央病院(10名中10名)、済生会松阪病院(7名中7名)、松阪市民病院(5名中5名)および山田赤十字病院(12名中12名)と4病院にみられた。フルマッチとはいかないが、いなべ総合病院(4名中3名)、市立四日市病院(15名中13名)、県立総合医療センター(12名中9名)などで定員比7割以上のマッチング結果であった。一方三重大病院では研修

プログラムの大幅な改革を行い、定員は満たさなかったものの昨年比8名増の14名と大幅な増加を認め県内研修医の増加に大きく貢献した。その一方で、桑名市民病院、四日市社会保険病院といった県北の病院、尾鷲総合病院、紀南病院といった県南の病院、岡波総合病院、津生協病院ではマッチ者が出ず残念な結果となった。研修医数が増加した病院では、研修現場の指導医やそれをささえる事務組織やコメディカル、そして何よりも実際に研修を行っている研修医のがんばりが大きかったと考えられるが、現在全国で進められているNPO法人卒後臨床研修評価機構による第三者評価を受けた鈴鹿中央総合病院、済生会松阪総合病院、山田赤十字病院の3病院がフルマッチとなっていることを考えると、病院を挙げて臨床研修の充実に取り組んだ施設でよりよい臨床研修体制が構築されていること、あるいはそのような取り組みができる「雰囲気」が、多くの研修医を惹きつけるのかもしれない。(注:市立四日市病院も10月9日同機構による第三者評価を受け受審証を交付されました。)

MMCマッチング結果 H20年

出身大学別	人数	出身大学	集計	出身大学	集計	出身大学	集計	単位数
三重大学	50	奈良県立医科大学	2	大阪市立大学	1			1
名古屋大学	4	日本大学	2	大阪大学	1			1
名古屋市立大学	3	岐阜大学	1	大分大学	1			1
高知大学	4	近畿大学	1	東邦大学	1			1
富山大学	3	金沢医科大学	1	藤田保健衛生大学	1			1
東海大学	2	金沢大学	1	浜松医科大学	1			1
福井大学	2	産業医科大学	1	琉球大学	1			1
山形大学	2	信州大学	1					
徳島大学	2	川崎医科大学	1	総計	90			

病院別 過去推移

病院名	募集定員	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	単位数
いなべ総合病院	4	3	3	2	0	0	0	0
桑名市民病院	4	0	3	0	0	0	0	0
山本総合病院	6	3	6	3	4	3	0	0
四日市社会保険病院	5	0	1	4	4	1	3	3
市立四日市病院	15	13	15	13	12	12	10	10
県立総合医療センター	12	9	11	4	5	5	5	5
鈴鹿中央総合病院	10	10	7	8	8	8	6	6
鈴鹿中央総合病院	8	5	3	2	2	4	5	5
岡波総合病院	4	0	0	0	2	0	0	0
名張市立病院	4	1	1	3	4	2	0	0
三重大学病院	26	14	6	6	3	6	10	10
津生協病院	3	0	1	1	1	0	0	0
三重中央医療センター	6	3	5	1	2	0	2	2
松阪中央総合病院	8	1	5	7	4	8	8	8
済生会松阪総合病院	7	7	5	8	6	4	5	5
松阪市民病院	5	5	1	0	0	1	3	3
山田赤十字病院	12	12	6	11	10	2	6	6
市立伊勢総合病院	5	2	0	0	5	1	3	3
県立志摩病院	4	2	3	1	3	0	1	1
尾鷲総合病院	2	0	0	0	0	0	0	0
紀南病院	4	0	0	0	0	0	0	0
合計	154	90	82	74	75	57	67	67

*募集定員はH20年度(H21年4月採用者)のものですが

情報コーナー

平成21年度マッチング
MMC臨床研修病院説明会

<日時>平成21年3月29日(日)
<場所>三重県総合文化センター

平成21年度
新採用研修医オリエンテーション

<日時>平成21年4月2日(木)
<場所>三重大学 三翠ホール(予定)

ちょっと太り気味ドクターの
～スタンフォード旅行記～“番外編”

みなさま、ちょっと太り気味ドクタースタンフォード旅行記楽しんでいただけましたでしょうか?一地方の大学スタッフにすぎないちょっと太り気味ドクターが見聞きしたことなどを、アカデミックな香りはおろか時にはニューヨークステーキのチーズのせに思いつきケチャップとブラックペパーをふったような香りにのせてつれづれ綴ってきました。かすかに、カリフォルニアワインの香りもしたかも…。それはともかく、これから3回にわたりその後の後日談としてスタンフォードから三重まで訪ねてくれた Dr. Ko YAMADA と、今回このような機会を与えてくれた友人でもあり恩人でもあり、そして僕が尊敬する医師の一人でもある関西医科大学河本慶子先生についてお話しします。

まず、Dr. Ko YAMADA についてのおさらい。この連載の第4回でも少しふれたが、僕が滞在中一番お世話になったレジデント。名前の通り日系アメリカ人。UCLA の出身で、在学中には Harvard 大の PhD コースを1年選択している。将来は Cardiology を目指している。日本には遠い親戚が静岡と千葉にいる…。3月に突然英文のメールが入る。危うく迷惑メールになりそうところ、stanford.edu のドメインをみてあわてて開封する。Dr. Ko YAMADA からであった。3月の始めに来日すること。是非 MEI UNIVERSITY に訪問したいと書いてある。滞在中何度か紹介をされる機会があったが、どうもこの MEI UNIVERSITY とするのは伝わりにくい。子が M で母音が I と E、いきなり口を開けてしまう発音であり、つばきを飛ばして発音する西洋人にはとても伝わらない。案の定 MEI UNIVERSITY になっていた。とにかく、KO が日本に来るらしい。結局3月9日から11日まで三重にくることになった。彼はスタンフォードシニアレジデントの3年目。この夏からは Los Angeles の Cedars-Sinai 病院で循環器内科の fellow にすすむ予定で、その前のこの機会に休みをとって親戚のある日本を訪ねるので、三重にもちょっと寄ってみたいとのことであった。是非、日本のレジデンシーシステムをみてみたいとのこと。ちなみに今回主に滞在する千葉県から「ちょっと」よほど遠くないということに彼に伝える英語力は残念ながらなかった…。かくして Dr. Ko YAMADA は、2泊2日実質滞在36時間で、三重大学や伊勢神宮だけでなく、県南部の紀和診療所にくわえて尾呂志診療所や西山診療所の巡回診療、学生対象の講演と交流会と、売れっ子タレントなみに連れ回されることになる。



発行元 NPO法人MMC卒後臨床研修センター【担当/金尾】
514-8507 三重県津市江戸橋2-174三重大病院西棟10F
Tel 059-231-5429 FAX 059-231-5440
URL <http://www.mmc-center.com> E-mail tsushin@mmc-center.com